

案件1 生駒市緑の基本計画の進捗について

令和4年11月2日
生駒市緑の市民懇話会

前回のおさらい

- 緑の基本計画とは
- 改定のポイント

緑の基本計画とは

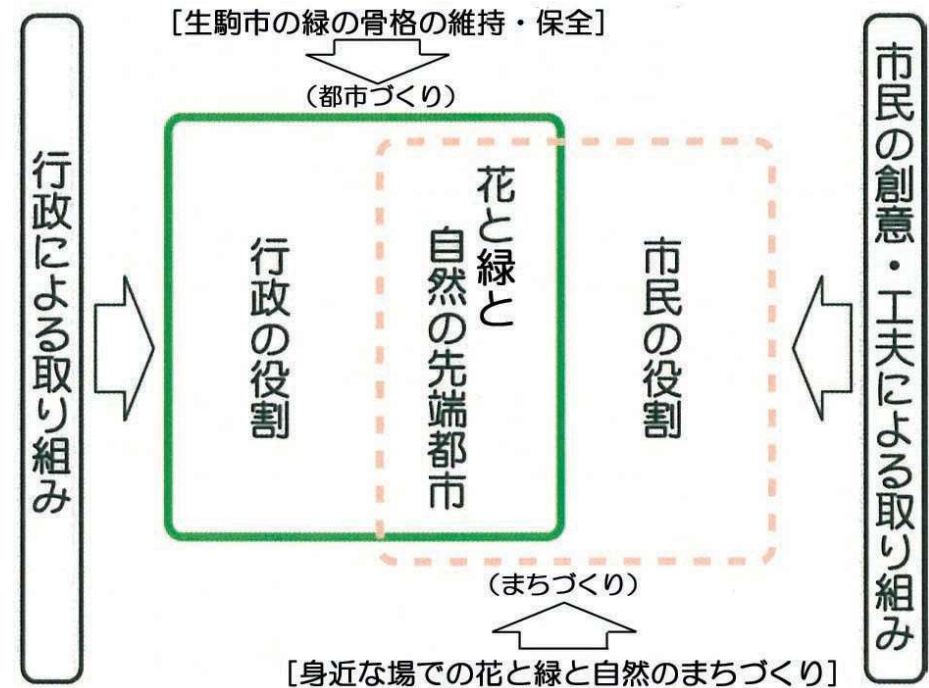


ポイント

花や緑に彩られ、身近に自然とふれあえる魅力的な都市環境のなかで暮らし続けるため、**市民と行政は、何を課題とし、何に取り組むべきか**

計画期間

H16策定～R2目標



市民の役割

「自分たちの環境は自分たちで管理する」認識で花と緑と自然のまちづくりに取り組む

行政の役割

- 種々の公共事業
- 市民の創意工夫やニーズに応じ、仕組みを整え、支援する

取り組み方針



取り組み方針 場所別に6分類し取り組みを整理

山地・丘陵の緑の環境に親しみ
“自然を守る心”を未来に伝える



川を取りもどし 生駒に
“水と緑の骨格”を創り・育む



樹林・農地を活かして “まちなか
の緑の厚み”を育み・伝える



市民の英知で“楽しく・使いやすい
公園”を育む



民間施設と公共施設の緑化でまちなかに
“花と緑のシンボル”を創る



“花と緑であふれる庭先・窓辺・
まちかど”を創り・育む



機能別緑地の配置方針



緑の有する機能に着目

環境保全

- 山並み
- 河川・ため池
- 寺社林・杜さんなど
- まちなかの樹林地



レクリエーション

- 里山の再生、遊歩道など拠点の整備
- 公園の整備
- 水辺の整備や活動支援、樹林地活用



防災

- 土砂崩壊対策
- 洪水被害対策
- 延焼防止等対策
- 避難地等の確保
- 幹線道路の沿道の緑化等



景観

- 山や樹林（遠景）
- まちかどの緑や花（近景）
- 美しいまちなみ(中景 = 遠景と近景の中間)



評価指標と目標値



目標値(抜粋)

緑地の確保目標 約55% (生駒市全域)

都市公園などの整備目標 11.58㎡/人→12.0㎡/人 (都市公園) など

→緑を増やすことを指標にしている (人口増加が前提)

進捗報告

生駒市緑の基本計画 進捗調査【概要】



目的

生駒市緑の基本計画に記載される各取組について、計画策定したH16年以降の進捗等を把握する

方法

- 対象：生駒市 関係各課（30部署）
- 調査方法：庁内グループウェアにて配信・回収
- 調査期間：令和4年8月～9月

主な項目

1. 進捗状況 →**今回報告**
2. 課題や今後の見直し方針 →各課と議論し、次回以降報告

進捗状況



進捗の分類

- ① 計画通り完了・終了
- ② 計画通り継続中
- ③ 計画変更して継続中
- ④ 見直し中

①～④に分類の上、
・取組の具体的な内容
・他団体等の活動・連携
を各課で記載

進捗状況

計画を策定したH16以降の主な取組（各課が把握しているもの）

他団体等の活動・連携等

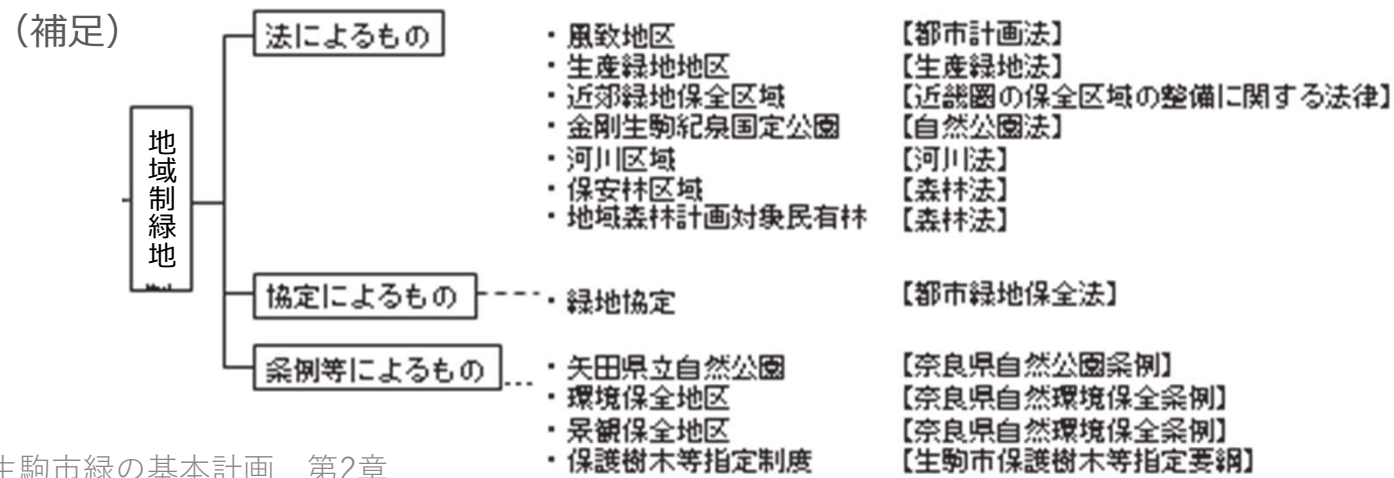
各取組に関連した、市民団体や他行政団体等との連携状況（各課が把握しているもの）

領域別の取組

山地・丘陵の緑の環境に親しみ “自然を守る心”を未来に伝える



	計画	実施状況	連携
計画通り 継続中	<ul style="list-style-type: none"> 各法令に基づく「地域制緑地」の窓口案内や許可申請事務 市民による里山環境の再生活動支援 「樹林地バンク」制度による活動場所の斡旋 緑化基準を定め、緑化を行うよう開発時に事業者等を指導 ハイキングコースや遊歩道の整備や維持管理、イベントやアクティビティ造成 生駒山を楽しむ体験コンテンツ、生駒山麓公園で自然と触れ合うイベント 		奈良県・委託事業者・市民ボランティア・森林所有者・観光協会・周辺市町村・DMO・鉄道会社
計画変更し継続中	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設や市HPに「生駒の山と自然の情報コーナー」開設 	<ul style="list-style-type: none"> Twitterでの情報発信 ハイキングマップの配布 	各団体 (SNS)



川の環境を取りもどし 生駒に“水と緑の骨格”を創り・育む



	計画	実施状況	連携
計画通り 継続中	<ul style="list-style-type: none"> 市立各学校でビオトープの整備を行い、子どもたちの学習で活用 河川水質改善や自然観察等の推進組織発足、市民団体として自立 竜田川の水質保全のため、使用済食用油の回収・リサイクル、啓発活動 一部自治会と連携し、河川敷や管理道沿いの花や植栽の管理・支援 公共施設内の修景池について景観維持のため維持管理 		市民団体 自治会 奈良県 周辺自治体
計画変更 し継続中	<ul style="list-style-type: none"> 水辺環境の再生 水質浄化のため公共下水道の整備推進 	<ul style="list-style-type: none"> 下水道整備事業の実施 汚水処理施設整備の計画策定 合併処理浄化槽の普及促進 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備・市街地整備に合わせた川沿いの緑化や修景 水際の環境再生に配慮した河川改修 	<ul style="list-style-type: none"> 主に奈良県の事業が該当 	

樹林・農地を活かして“まちなかの緑の厚み”を育み・伝える



	計画	実施状況	連携
計画通り 継続中	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働による「市民が残していきたい樹林地15選」の選定 市民の森事業として「生駒台みんなの森」の整備、活用 市民団体に対し、「樹林地バンク制度」設立等により活動場所として土地所有者とマッチング、樹林地と親しむイベントなどの支援 市民協働による保護樹木選定と、保護樹林と併せた維持管理等の支援 遊休農地の活用、樹林地等に親しむ市民イベントに向けた検討 		樹林・農地・樹木の所有者や管理者、市民ボランティア、近隣小学校、福祉事業所
見直し中	<ul style="list-style-type: none"> 歴史の森・樹林公園の指定と市民との協力した維持管理 友好都市と協力し市民参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史の森・樹林公園未指定 友好都市と協力した事業未実施 	
(補足)	歴史の森 樹林公園 市民の森 保護樹林・保護樹木	寺社・史跡などと一体の樹林地等を保全 レクリエーションや自然学習の場として開放(公園扱い) 市民に開放し活用や維持管理を行う民有の森 由緒・由来ある樹林・樹木を指定し維持管理を支援	

市民の英知で“楽しく・使いやすい公園”を育む



	計画	実施状況	連携
計画通り完了・終了	<ul style="list-style-type: none"> 地元住民とのワークショップによる公園のリニューアル(約10か所) 		自治会
計画通り継続中	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの公園清掃を自治会委託 自治会要望に応じた花だんづくりの許可 一定規模以上の開発時には公園の設置を原則義務付け事業者を指導 		自治会
計画変更し継続中	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー化を目的の1つとした公園リニューアルワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> 園路の段差解消や手すり設置、インクルーシブ遊具導入 遊具更新時にワークショップ・アンケート・ヒアリング実施 	自治会、近隣幼稚園、公園利用者等
見直し中	<ul style="list-style-type: none"> 公園の新設時はワークショップによる市民参加型の公園づくり実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市で公園の新設は行っておらず、開発事業者による新設のみ 	

民間施設と公共施設の緑化でまちなかに花と緑のシンボルを創る



		計画	実施状況	連携
計画通り 完了・終了		<ul style="list-style-type: none"> 生駒駅前再開発：壁面・屋上緑化や、市民等と協働した広場整備 新設道路における道路の緑化：地元と協働し樹種選定 		ワークショップ 参加者
計画通り 継続中	民間施設	<ul style="list-style-type: none"> 一定規模以上の開発や建築行為の際に、敷地緑化を行うよう指導 花と緑の景観まちづくりコンテストにおいて事業所を含む優れた景観を表彰 学研北生駒駅周辺まちづくり：「自然環境との調和」を方針の1つとし、シンボルツリーを定め、地区内店舗などで植樹を推進 		開発事業者、 まちづくり協議会
	公共施設	<ul style="list-style-type: none"> 既存公共施設の植栽の維持管理、植込やプランター等の増設 公共施設の新築・建替時に、植栽を整備するなどの緑化 参道や水辺の並木の維持管理、参道整備時に地元と連携した樹種選定 駅前花だんなどの市民との協働による花づくり、ふるーらむの花苗の活用 自治会要望に応じた花だんづくりの許可 		市民ボランティ ア、自治会
計画変更 し継続中		各施設にふさわしい緑化、花飾りに市民と協力して行う	<ul style="list-style-type: none"> 小学校・幼稚園グラウンド芝生化 学校等の緑化を指導・支援する ガーデンボランティアを育成 	ガーデンボラン ティア、学校等

“花と緑であふれる庭先・窓辺・まちかど”を創り・育む



	計画	実施状況	連携
計画通り 継続中	<ul style="list-style-type: none"> • 地区計画制度の活用による、緑化率の指定や生垣による緑化推進 • 住宅地にある農地を生産緑地として保全し視界に入る緑を確保 • ふろーらむの機能充実：市民交流サロン実施(終了)、ガーデニング講座の実施と修了生の派遣、フェスタやコンテストの実施 		<p>土地所有者、講座修了生、ボランティア</p>
計画変更し 継続中	<ul style="list-style-type: none"> • 「花と緑の市民まちづくり」手順モデルを設定して啓発・普及 • 生垣、花飾り、緑化などのモデル集作成 • ふろーらむで体験型イベント(春・秋) • 花苗供給・樹木リサイクル等でふろーらむの拠点化 	<ul style="list-style-type: none"> • 手順モデルは未設定だが、啓発・普及のために講座等を実施 • 公共の場所での花づくり事例を市ホームページで紹介 • ふろーらむでフェスタを開催(秋) • 駅前花だん等への花苗提供 	<p>フェスタ実行委員会・ボランティア団体や地元商業者などの出店者</p>
見直し中	<ul style="list-style-type: none"> • 生垣、花飾り、緑化などのモデル地区の設定 • 緑化重点地区を指定 	<ul style="list-style-type: none"> • モデル地区設定は未実施 • 緑化重点地区は未指定 	

機能別の取組

機能別①環境保全系統緑地の配置方針



	計画	実施状況	連携
計画通り 継続中	<ul style="list-style-type: none"> 各法令に基づく「地域制緑地」の窓口案内や許可申請事務など 山並み環境保全・再生に取り組む団体への活動場所や情報の提供 自然観察会や環境啓発に取り組む市民団体の設立・活動支援 大和川流域における美化活動(年に1度) 市民協働による保護樹木選定と、保護樹林と併せた維持管理等の支援 		森林所有者、 市民ボランティア、奈良県、 国や近隣自治体等
見直し中	<ul style="list-style-type: none"> 歴史の森・樹林公園の指定と市民との協力した維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史の森」「樹林公園」の指定は実施していない 	

機能別②レクリエーション系統緑地の配置方針



	計画	実施状況	連携
計画通り 完了・終了	<ul style="list-style-type: none"> 公園の、園路の段差解消や手すり設置、ワークショップによるリニューアル 		自治会
計画通り 継続中	<ul style="list-style-type: none"> 市民が自然好きになれる取組：市民と協働した動植物の生息状況調査 ボランティア団体が実施する市民向けイベントを資金・広報面で支援 市民団体とも連携した倒木・落石・土砂崩れ対応 富雄川環境美化協議会と協働で、河川管理道の清掃や花の植栽・育成 「市民の森」市民に開放、活動 		市民団体、協議会、近隣小学校
計画変更 し継続中	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設や市HPに「生駒の山と自然の情報コーナー」開設 身近な公園を安全で楽しく使いやすい場とするための仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 市の窓口や観光協会HP等でハイキングコースの案内 Twitterで情報を発信 住民アンケートによる遊具選定、インクルーシブ遊具の導入 	観光協会、各団体(SNS)、自治会、近隣幼稚園、公園利用者等
見直し中	<ul style="list-style-type: none"> 公園が不足する地区で用地確保、市民参加による公園づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 市による公園新設は行っておらず開発時に事業者が新設 樹林公園、歴史の森未指定 	

機能別③防災系統緑地の配置方針



	計画	実施状況	連携
計画変更し継続中	<ul style="list-style-type: none"> 治水効果に配慮した公園緑地等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 一定規模以上の開発で住宅地周辺に緑地等を配置、市による新規整備はなし 	
計画通り継続中	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地の活用、森林経営管理制度の活用に向けた整理 一定規模以上の開発や建築行為の際に、敷地緑化や延焼防止を指導 火災時の延焼防止やヒートアイランド化の防止に向けた、既存公共施設の植栽の維持管理、植込やプランターの増設等 公共施設の新築や建て替え時の敷地・屋上緑化、延焼防止対策 		<ul style="list-style-type: none"> 農地・森林所有者、委託事業者、開発事業者、ボランティア
計画通り完了・終了	<ul style="list-style-type: none"> 大和川流域治水対策事業として、ため池貯留事業を実施 市道整備の際に植樹帯を設置（幹線道路は主に県事業） 		<ul style="list-style-type: none"> 水利組合等
見直し中	<ul style="list-style-type: none"> 公園を一次避難所に位置付け、防災機能向上に努める 市街地の延焼防止など「防災グリーンネットワーク」として策定 沿道の公園緑地の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 公園等を指定の避難地に位置付けていない 防災グリーンネットワーク未策定 幹線道路沿いに新規の公園整備は公共・民間ともに未実施 	

機能別④景観系統緑地の配置方針



	計画	実施状況	連携
計画通り 継続中	<ul style="list-style-type: none"> 各法令に基づく「地域制緑地」の窓口案内や許可申請事務など 景観法・風致地区・地区計画に基づく規制誘導や、「景観まちづくり相談」のアドバイスを通した民地の緑化推進 農地の生産緑地指定や、風致地区での木竹伐採の制限、市民の森指定、市民活動団体等の支援、保護樹木・保護樹林制度による緑の保全 一部市民と協働した駅前の花だんや花飾りづくり、花苗の育苗 		奈良県、農地・森林等の所有者、近隣小学校、市民ボランティア
計画通り 完了・終了		<ul style="list-style-type: none"> 地元自治会と連携し、既存石段を活用した市道宝山寺参道線の整備 	地元自治会
見直し中	<ul style="list-style-type: none"> 寺社林を歴史の森とし景観維持 宝山寺石段参詣道の景観保全 	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史の森」未指定 宝山寺の門前町にふさわしい参道沿いの景観を検討していく 	

推進体制

計画の推進体制



	計画	実施状況	連携
計画通り 継続中	<ul style="list-style-type: none"> 緑の市民懇話会設置、みどり公園課やふろーらむの取組内容を含めて市民と共に検討 人材育成プログラムとしてガーデニング講座を実施し、修了生をふろーらむにボランティアとして迎えている ボランティアと共にふろーらむ職員が「お出かけふろーらむ」として現地に出張 「みどりの基金」設立、寄付金と利子による運営 国や県からの補助金を活用した公園の再整備、遊具等の更新 		<p>ボランティア、 学識経験者、 市民代表、 企業</p>
見直し中	<ul style="list-style-type: none"> 地域、世代、得意分野を超えた交流や情報交換の場「花好き・自然好き市民交流サロン」開設 「花と緑と自然の先端都市市内推進委員会」の設置 住民参加型ミニ市場公募債 	<ul style="list-style-type: none"> H18～29年度までサロンをふろーらむに開設したが、参加者の減少により活動休止 市内委員会は設置せず、必要に応じて各課と調整 ミニ市場公募債は未実施 	

計画の目標

計画の目標



↓人口14.0万人想定

↓実際は11.7万人

項目・現況

緑地の確保目標	年次	H12現況
	市街化区域における割合	21%
	都市計画区域における割合	48%

目標値(H32)

目標 (H32)
おおむね30%
おおむね55%

実績値(R3)

実績 (R4.3)
20%
48%

都市公園等の整備目標	年次	H12現況
	都市公園	11.58m ² /人
	都市公園など	18.46m ² /人

目標 (H32)
12.0m ² /人
24.0m ² /人

実績 (R4.3)
13.23m ² /人
20.36m ² /人

都市緑化の目標	指標	区分	H12現況
	緑被率	公共施設	23.3%
		市道	54.0%
		県道	24.0%
	道路緑化率	国道	10.0%
		駅前商店街	5.5%
		沿道商業地	9.1%
	緑視率	一般住宅地	21.7%
		低層住宅地	18.8%
中高層住宅地		26.1%	

目標 (H32)
25%以上
DID地区内 75%以上
10%以上
20%以上
30%以上
30%以上
30%以上

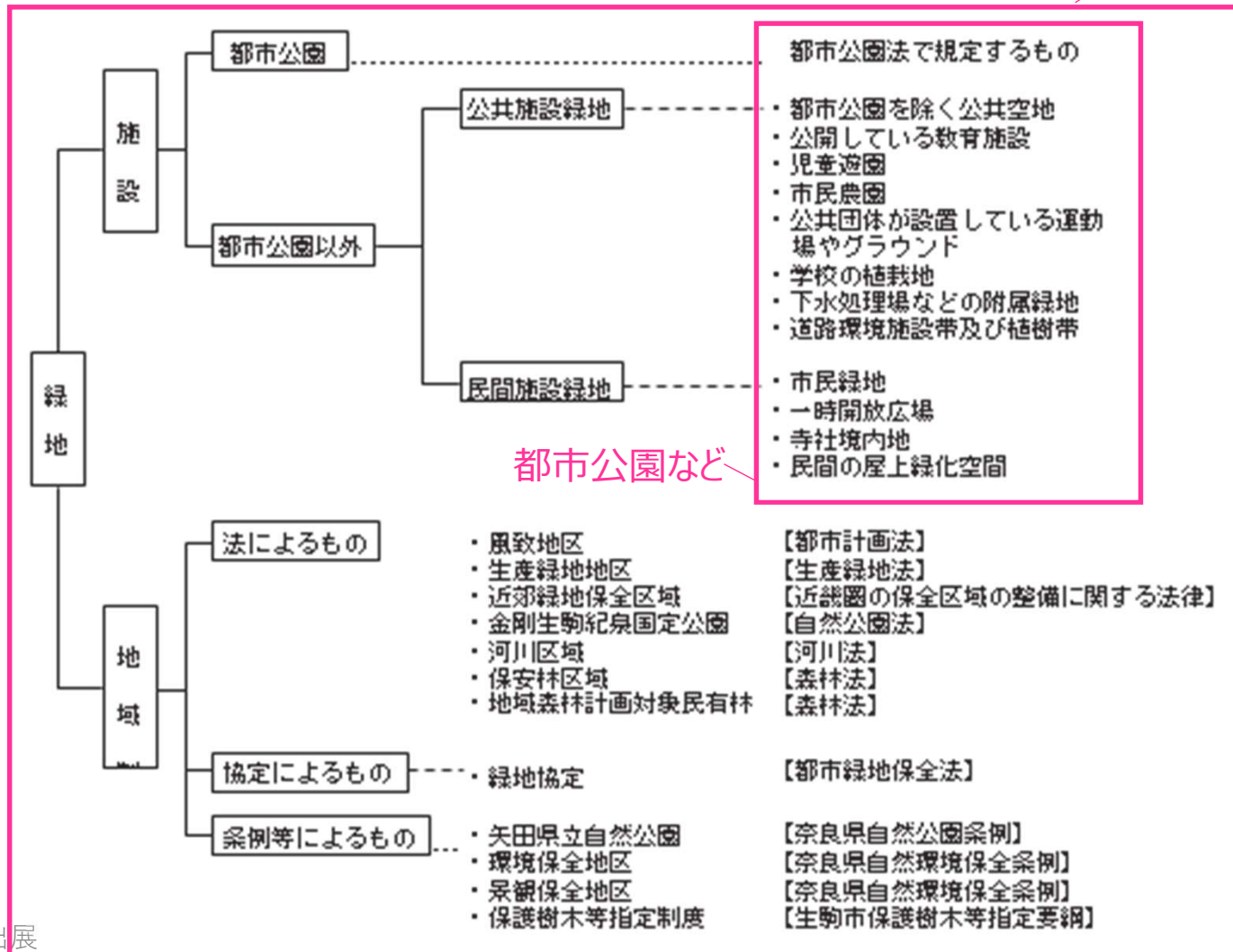
(調査中)

(補足)



- **緑地** = 地域制緑地 + 施設緑地
- **都市公園など** : 都市公園 + 公共施設緑地

緑地



*施設緑地：
施設そのものが、環境保全、レクリエーション、防災、景観の保全・形成を目的として配置・整備されているもの。

*地域制緑地：
法律や条例などにより一定条件の土地の形状の変更が制限されている土地のこと。底地は民有地である場合がほとんどであり、必ずしも永続性を持つものではない。

都市公園など

(補足)



- **緑被率**：敷地面積に対する樹木の枝葉の投影面積や芝、草花などで覆われた部分の面積
- **道路緑化率**：国道、県道、市道の管理延長に対する緑化延長の割合
- **緑視率**：測定点で、人の視点の高さから 35mm カメラを用いて撮影した写真の中に占める緑の割合

今後の予定

改定のポイント(前回の懇話会より抜粋)



都市緑地法

- 都市における緑地の保全・緑化の推進に関し定める法律であり、緑の基本計画の根拠法。H29年に大きく改正
- 法改正に加え、緑の基本計画に位置付けるべきものが時代に応じて変化

緑の基本計画に特に関わる点

法改正の
ポイント

- 都市公園の再生・活性化
- 緑地・広場の創出
- 都市農地の保全・活用

緑の基本計画
に位置付け

- 都市における生物多様性
- 緑地の「グリーンインフラ」機能

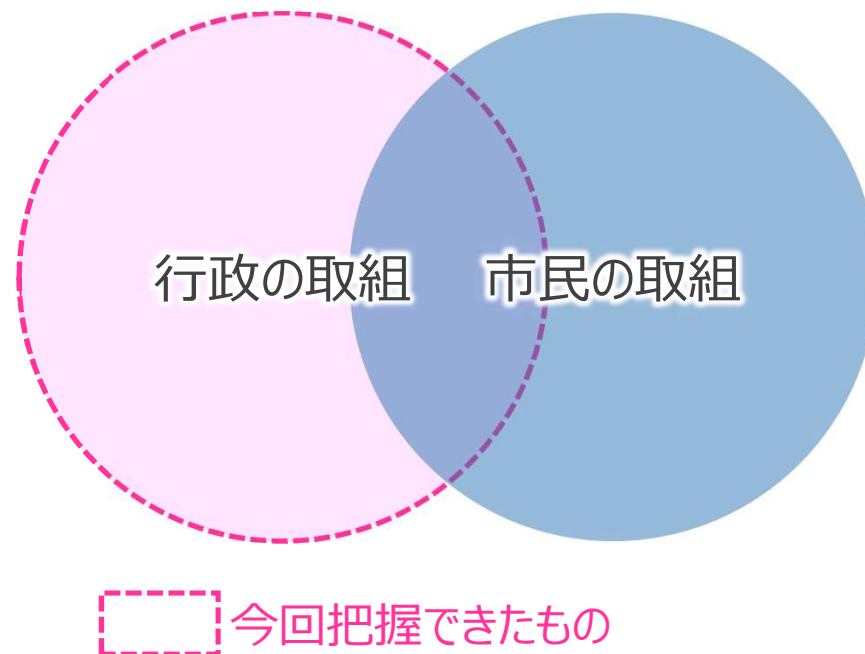


今後の予定



これまでの取組とニーズの把握

- 庁内調査 ←今回報告
- 活動者ヒアリング ←まずは懇話会で
- 市民アンケート



新たな取組の議論

- 調査結果から既存の取組と市民のニーズを整理
- それらを踏まえ、専門家の意見も仰ぎながら今後の取組等を議論